



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月10日  
東

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所  
 コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宇野澤 虎雄  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,267	12.2	14	—	5	—	△14	—
27年3月期第3四半期	2,911	6.4	△66	—	△72	—	△28	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	△1.27		—					
27年3月期第3四半期	△2.55		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第3四半期	6,947	—	1,495	—	21.5	
27年3月期	6,605	—	1,510	—	22.9	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,495百万円 27年3月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※28年3月期の期末配当予想は未定です。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認ください。

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	8.3	90	—	80	—	40	—	3.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,200,000株	27年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	150,384株	27年3月期	150,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,049,616株	27年3月期3Q	11,163,133株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信（四半期決算短信）は、金融商品取引法に基づく監査手続（レビュー手続）の対象外であり、この決算短信（四半期決算短信）の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続（四半期財務諸表に対するレビュー手続）は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成28年3月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績額予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、景気持ち直しの動きがみられるものの、依然足踏みの状況が続いております。円安・原油安に伴う良好な収益環境や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調が続く一方、個人消費が力強さを欠く状況となっており、また、中国・新興国経済の景気減速や地政学上の不確実性など外需環境においても不透明感が拭えません。国内企業の設備投資においても内需・外需環境の不透明感から慎重姿勢が強まる状況となりました。

当社を取り巻く環境も概ね同様の状況で推移しました。

このような環境の中、売上高は前年同四半期比12.2%増収の3,267百万円となりました。損益面におきましては、営業利益14百万円(前年同四半期は営業損失66百万円)、経常利益5百万円(前年同四半期は経常損失72百万円)、四半期純損失14百万円(前年同四半期は四半期純損失28百万円)と増益となり、営業利益及び経常利益段階で、第2四半期累計期間に続き黒字計上となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### 1. 製造事業

製造事業の売上高は2,850百万円となりました。国内の液晶関連真空ポンプの出荷が進み前年同四半期比13.3%増となりました。

損益面につきましては、セグメント損失290百万円(前年同四半期はセグメント損失353百万円)の計上となりました。売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,685百万円(前年同四半期比20.9%増)、送風機・圧縮機は358百万円(前年同四半期比17.7%減)、部品および修理は794百万円(前年同四半期比17.3%増)の結果となりました。なお、当四半期末の受注残高は、前年同四半期比17.4%増の1,101百万円となっております。

輸出関係におきましては、北米・韓国向けの案件で売上を伸ばしましたが前年第2四半期のインド向け大型案件の反落を補えず、売上高は332百万円(前年同四半期比23.0%減)となりました。

#### 2. 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちにより、売上高は416百万円(前年同四半期比5.0%増)、セグメント利益304百万円(前年同四半期比5.5%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は342百万円増加し6,947百万円、負債は357百万円増加し5,452百万円、純資産は14百万円減少し1,495百万円となりました。総資産の増加は、現金及び預金が78百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が230百万円、たな卸資産が216百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金が94百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が358百万円増加したのが主な要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が14百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末比1.4%低下し、21.5%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,638,983	1,560,870
受取手形及び売掛金	1,575,450	1,805,757
たな卸資産	673,735	890,142
その他	26,453	20,915
流動資産合計	3,914,623	4,277,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,485,946	1,465,881
土地	631,643	631,643
その他(純額)	94,477	99,642
有形固定資産合計	2,212,067	2,197,167
無形固定資産	5,437	4,235
投資その他の資産		
その他	482,234	477,855
貸倒引当金	△9,103	△9,070
投資その他の資産合計	473,130	468,784
固定資産合計	2,690,635	2,670,186
資産合計	6,605,258	6,947,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,766	1,232,959
短期借入金	1,079,969	1,145,725
未払法人税等	2,204	17,442
賞与引当金	63,048	19,402
その他	265,028	262,268
流動負債合計	2,285,016	2,677,797
固定負債		
長期借入金	1,821,983	1,727,386
退職給付引当金	486,846	472,979
役員退職慰労引当金	127,120	127,510
その他	373,755	446,525
固定負債合計	2,809,704	2,774,400
負債合計	5,094,721	5,452,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	252,475	238,403
自己株式	△28,785	△28,785
株主資本合計	1,312,621	1,298,549
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	197,916	197,123
評価・換算差額等合計	197,916	197,123
純資産合計	1,510,537	1,495,673
負債純資産合計	6,605,258	6,947,871

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,911,860	3,267,242
売上原価	2,509,828	2,798,792
売上総利益	402,032	468,449
販売費及び一般管理費	468,878	454,074
営業利益又は営業損失(△)	△66,846	14,375
営業外収益		
受取利息	606	437
受取配当金	6,983	6,948
受取保険金	-	2,500
その他	21,073	14,336
営業外収益合計	28,663	24,222
営業外費用		
支払利息	32,754	32,044
その他	1,549	1,477
営業外費用合計	34,304	33,521
経常利益又は経常損失(△)	△72,487	5,075
特別利益		
固定資産売却益	149	3,374
投資有価証券売却益	51,580	-
特別利益合計	51,730	3,374
特別損失		
固定資産除却損	4,113	0
特別損失合計	4,113	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△24,870	8,449
法人税等	3,567	22,521
四半期純損失(△)	△28,438	△14,071

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,514,869	396,991	2,911,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,514,869	396,991	2,911,860
セグメント利益又は損失(△)	△353,793	286,947	△66,846

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業利益)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,850,580	416,662	3,267,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,850,580	416,662	3,267,242
セグメント利益又は損失(△)	△290,414	304,789	14,375

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業利益)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製 造 事 業	前第3四半期 平成26年4月1日から 平成26年12月31日まで		当第3四半期 平成27年4月1日から 平成27年12月31日まで		対前期比増減	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	1,393,876	47.9	1,685,165	51.6	291,289	20.9
送風機・圧縮機	436,406	15	358,944	11.0	△77,461	△17.7
部品及び修理	677,706	23.3	794,720	24.3	117,013	17.3
そ の 他	6,880	0.2	11,750	0.4	4,870	70.8
製造事業計	2,514,869	86.4	2,850,580	87.2	335,711	13.3
内(輸出品※)	(432,118)	(14.8)	(332,753)	(10.2)	(△99,365)	(△23.0)
不 動 産 事 業	396,991	13.6	416,662	12.8	19,670	5.0
合 計	2,911,860	100.0	3,267,242	100.0	355,381	12.2

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製 造 事 業	受 注 高			受 注 残 高		
	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	1,560,658	1,712,209	151,550	415,774	503,319	87,544
送風機・圧縮機	554,603	509,493	△45,109	398,061	422,792	24,731
部品及び修理	707,843	852,350	144,507	123,824	168,686	44,862
そ の 他	6,880	10,860	3,980	0	6,610	6,610
合 計	2,829,985	3,084,913	254,928	937,660	1,101,408	163,747